

第百六十七宗議會 宗務総長挨拶

宗務総長 増田修誠

慈光照護のもと、皆様には法務多忙のなか御出席を賜りまして、心から感謝と御礼を申し上げる次第であります。

新内局就任以来、前内局の方針をしっかりと受け継ぎながら、検討・確認を加え、信頼される宗政を確立していくことが基本であると考え、皆様のご理解・ご支援のもと歩ませていただいております。

先の第百六十六宗議會におきまして、二〇二三年五月 開山親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年奉讃法会 中興真慧上人五〇〇年忌・聖徳太子一四〇〇年忌奉讃法会の『特別法要』をお迎えさせていただく旨。並びに「宝物館建設推進事業」につきましては、慎重に検討審議をいただき、見せる宝物展示から伝える宝物展示へと、時代に即し動線を見据えた『親鸞聖人の教えに出会う宝物館』としての承認を頂き、新事務局を開設し法要の取り組みへの御承認を賜ったところであります。

「特別法要」「宝物館建設事業」の事務局開設に際しましては、高田宗門の将来へ連なる大切な法要・建設事業であり、前「一光三尊佛御開扉法会事務局」と同じ所に開設し、宗務院と共に一体となって対応いたし、高田宗門の総力を挙げての計画を推進すべく皆様にご審議を頂きたく存じます。

今宗議会に「特別法要」「宝物館建設事業」の大枠骨子(案)・予算(案)につきまして、事務局長・総務より説明をさせていただきます。

宗門を取り巻く社会環境・社会構造は目まぐるしく大きく変化し、人口減少や世帯分散による檀信徒の減少、寺院と地域社会のつながりの希薄化や寺院の後継者問題、檀信徒の次世代への御法義相続や、法会等の変化など、寺院にとって不安の原因となる事柄は枚挙に暇がありません。

しかし、過疎地域寺院の取り組み中であって、「地域の人口が減ってはきているけれども、地域と共に助け合い、お寺を皆んなで支えていこうとする結束力が高まっている。」「お寺は村の大切な内仏です。お寺とは何か、お念仏とは何か、という原点に立ち返って考えてまいりたいです。」という地域と共に歩む寺院の声をお聞かせいただきました。

正に、大きな時代の転換期であるからこそ、先達の思い・願いをしっかりと受け止め、本山専修寺、

高田寺院の法灯を絶やすことなく、将来へ連なる大切な「特別法要」「宝物館建設事業」へ、私たち一人ひとりが、念仏高田の宗門を形づくる一人であるという自覚と責任を持ち、原点に帰り、念仏高田の教えを次世代へしっかり相続させていただく。「幼児・子ども・若者へのご縁づくり」「父母・祖父母・ミドルエイジへのご勝縁づくり」へと地域に寄り添い、明日を担う後継者皆様と共に、ためまぬ研修研鑽を進めて参りたいと思います。

報恩講法会・声明公演・仏教文化講座等々、本山と高田寺院を結ぶ情報配信を続けておりますが、後継者皆様の御協力をいただき、本山・各別院が一層の連携を図り、本山・別院・寺院へ、一人でも多くの檀信徒皆様と共に御縁を結ぶ『特別法要』の発信と、後継者皆様への研修講座発信へと、つなげてまいりたいと願うところであります。

二〇二三年『特別法要』『親鸞聖人の教えに出会う宝物館』建設事業の円成にむけて、開山親鸞聖人がご生涯をかけ、明らかにしていただいた念仏の教えを聞き、御遺徳を忍び、共に念仏を唱和する感謝の『特別法要』へとつなげてまいりたく、各高田別院・各組内皆様へ「お願いの御巡教」を計画申し上げ、御支援、御協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

宗 達

宗 達 第一一三五号

前法主殿来る令和元年十二月七日午後一時より真宗高田派専修寺横浜別院報恩講に御親修御親教相成る

令和元年九月十七日

法主鈴印

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠

宗 達 第一一三六号

法主殿来る令和元年十一月十五日・十六日本寺専修寺報恩講に御親修御親教相成る

令和元年九月二十三日

法主鈴印

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠

任 免

令和元年七月十七日

依請解其職

選挙管理委員

山中 真諭

令和元年八月三十一日

依請解其職

宗議会事務局長

押小路蓮円

令和元年九月一日

開山親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年・中興上人
五百年忌・聖徳太子千四百年忌奉讃法会 特別法要事務局局長
を命ずる

を命ずる

西方寺前住職

押小路蓮円

開山親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年・中興上人
五百年忌・聖徳太子千四百年忌奉讃法会 特別法要事務局出向、
事務局次長を命ずる

財務課

久野 俊彦

開山親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年・中興上人
五百年忌・聖徳太子千四百年忌奉讃法会 特別法要事務局局長
を命ずる

小林恵美子

庶務部部长兼庶務課長を命ずる

庶務課長

多賀 孝顕

宗議会事務局長を命ずる

西光寺住職

藤原 隆信

録事を命ずる

録事心得

久野 俊彦

録事を命ずる

録事心得

塩崎 慶脩

令和元年九月三十日

依請解其職

知堂

佐々木善徳

令和元年十月一日

知堂主任を命ずる

知堂

青木 義成

令和元年福井別院報恩講中唱導師を命ずる

十九日 日中

勝光寺住職

佐々木俊英

十九日 逮夜

仙福寺住職

佐々木真修

十九日 初夜

本流院住職

秦 顕乘

二十日 日中

聖徳寺住職

土屋 宗光

令和元年福井別院報恩講中威儀視察を命ずる

安養院住職

松木 光仁

信行寺住職

波多野俊香

光照寺住職

加藤 智性

榮照寺住職

藤原 法壽

専福寺住職

金森 顕宏

副住職任命

令和元年十月九日

三重県鈴鹿市津賀町

任 来教寺副住職

来教寺衆徒

津賀 開導

住職拜命

令和元年十月十日

依請解其職

光泉寺住職・代表役員

高山 光昭

三重県津市須ヶ瀬町

光泉寺副住職

高山 大信

補 光泉寺住職・任

光泉寺代表役員

依請解其職

壽福院住職・代表役員

眞岡 慶光

三重県鈴鹿市三日市

壽福院副住職

眞岡 慶明

補 壽福院住職・任

壽福院代表役員

得度

令和元年十月十日

三重県津市白山町三ヶ野

澄空院 妙覚 院家首席一等

欣浄寺衆徒

菱井 澄子

三重県津市白山町二本木

静照院 知香 院家一等

延寿寺衆徒

富山 知子

三重県津市白山町二本木

浄眞院 賢空 院家一等

延寿寺衆徒

富山 賢介

三重県津市高茶屋

松宜院 蓮彩 老分二等

浄誓寺衆徒

森田 宜彦

身分堂班

令和元年八月二十八日

列 其身一代堂班 准上座三等 准上座二等 准上座一等

上座三等 上座二等 上座一等

勝林寺衆徒 武田 真也

九・二五 晨朝

日中

少僧都 山中 真諭

九・二六 晨朝

日中

律 師 若林 妙百

讚佛会復演

九・二三 日中

大僧都 清水谷正尊

布教任命

讚佛会説教

九・二〇 晨朝

九・二一 晨朝

九・二二 日中

九・二三 晨朝

九・二四 日中

権中僧都 田中 明誠

権中僧都 松山 智道

権中僧都 鷲山 了悟

律 師 隆 妙灑

少僧都 千草 篤昭

権大僧都 真昌 智海

少僧都 長谷部行雄

権大僧都 浦井 宗司

権中僧都 中村 宜成

九月御影堂堂在説教（晨朝）

九・一 権少僧都 真置 信海

九・二 権中僧都 里榮 秀教

九・三 権中僧都 藤田 正知

九・四 権中僧都 田中 明誠

九・五 少僧都 岡 知道

九・六 律 師 隆 妙灑

九・七 大律師 高島 光憲

九・八 中僧都 戸田 恵信

九・九 大僧都 上田 隆順

九・一〇 権中僧都 中村 宜成

九・一一 権大僧都 戸田 栄信

九・一二 中僧都 佐藤 弘道

九・一三 大律師 久世 宜範

九・一四 律 師 田中 唯聽
九・一五 中 僧 都 青木 義成
九・一六 權少僧都 真置 信海

九・一七 少 僧 都 山中 真諭
九・一八 權少僧都 真置 信海

九・一九 大 律 師 北畠 大道
九・二〇 權大僧都 浦井 宗司

九・二一 權中僧都 中野 達照
九・二二 大 僧 都 上田 隆順

九・二三 少 僧 都 上田 英典

九月御影堂常在説教

九・七 律 師 水沼 碧水

九・八 律 師 隆 妙灑

九・九 中 僧 都 青木 義成

九・一〇 中 僧 都 青木 義成

九・一一 權少僧都 高藤 英光

九・一二 權少僧都 高藤 英光

資堂講法會説教（日中）

一〇・一 權中僧都 中村 宜成

一〇・二 少 僧 都 千草 篤昭

一〇・三 律 師 隆 妙灑

第五世定專上人六百五十年忌法會
第十三世堯真上人四百年忌法會

一〇・二五 權大僧都 浦井 宗司
一〇・二六 少 僧 都 長谷部行雄

一〇・二七 權中僧都 安藤 章仁
一〇・二八 權大僧都 松山 智道

一〇・二九 權中僧都 真昌 智海

一〇・一 權中僧都 栗廼 隆興
一〇・二 權中僧都 里榮 秀教

一〇・三 少 僧 都 岡 知道

一〇・四 權中僧都 藤田 正知

一〇・五 律 師 若林 妙百

一〇・六 少 僧 都 藤澤 真樹

一〇・七 權大僧都 戸田 栄信

一〇・八 權少僧都 真置 信海

一〇・九 中 僧 都 戸田 恵信

一〇・一〇 權中僧都 田中 明誠

一〇・一一 權大僧都 東雲 正乘

一〇・一二 大 律 師 北畠 大道

一〇・一三、一四 中 僧 都 青木 義成

一〇・一五	少僧都	山中	真諭
一〇・一六	権中僧都	田中	明誠
一〇・一七	権中僧都	中村	宣成
一〇・一八	中僧都	佐藤	弘道
一〇・一九	律師	山中	久行
一〇・二〇	律師	田中	唯聰
一〇・二一	律師	隆	妙灑
一〇・二二	律師	水沼	碧水
一〇・二三、二四	権大僧都	浦井	宗司
一〇・二五	権中僧都	安藤	章仁
一〇・二八	少僧都	上田	英典
一〇・二九	少僧都	山中	真諭
一〇・三〇	権中僧都	鷲山	了悟
一〇・三一	律師	北畠	心淳

十月御影堂常在説教

一〇・七	速夜	権少僧都	高藤	英光
一〇・八	日中	権少僧都	高藤	英光
一〇・九	速夜	大律師	高島	光憲
一〇・一〇	日中	大律師	北畠	大道
一〇・一五	速夜	少僧都	山中	真諭
一〇・一六	日中	権少僧都	真置	信海

高田慈光院	月例法会		
九・一〇、二二六		中僧都	青木 義成
九・一六		中僧都	真置 和徳
一〇・一〇、一六、二六		権中僧都	田中 明誠
報徳園	月例法会		
九・一五		少僧都	千草 篤昭
一〇・一五		少僧都	山中 真諭

お詫びと訂正

宗報令和元年八月号(九百二十一号)
八頁「任免」

誤

高田保育園	栗眞 恵光
高田幼稚園	佐藤 弘道
正	
高田保育園長	栗眞 恵光
高田幼稚園長	佐藤 弘道

謹んでお詫びし、訂正致します。

第167 宗議会報告

去る9月25日から9月26日の2日間にわたり第167宗議会が開催された。第1日目、午前9時50分に出席議員が両御堂を参拝した。その後宗務院2階の第1会議室において開会式が行われた。法主殿のご臨席を仰ぎお言葉を拝し、大西議長が奉答申し上げた。

本会議に入り、はじめに水平議会運営委員長より本会議を2日間とし、日程の報告があった。続いて、藤原事務局長より常任委員会の報告があった。その後、「令和元年度真宗高田派歳入歳出予算」等を慎重審議の上、上程されている11議案及び承認事項が可決された。

可決議案及び承認事項、報告事項は次のとおりである。

第167 宗議会議案

議案第1号	平成30年度	真宗高田派歳入歳出決算
議案第2号	平成30年度	専修寺歳入歳出決算
議案第3号	平成30年度	真宗高田派共済会歳入歳出決算
議案第4号	平成30年度	高田派法主褒賞特別会計歳入歳出決算
議案第5号	平成30年度	専修寺聖教保存修理特別会計歳入歳出決算
議案第6号	平成30年度	宝物館建設特別会計歳入歳出決算
議案第7号	令和元年度	高田派歳入歳出補正予算
議案第8号	令和元年度	専修寺歳入歳出補正予算
議案第9号	令和元年度	特別法要歳入歳出予算
議案第10号		「真宗高田派宗規程」の一部改正について
議案第11号		「真宗高田派共済会規程」の一部改正について

*宗議会議事務局長の交代（退任・就任）について

- 承認事項
- 1、特別法要事務局人事について
 - 2、北海道別院の土地売却購入について
- 報告事項
- 1、明日香坊官屋敷について
 - 2、宝物館建設について
 - 3、その他

上記のとおり提出します。

令和元年9月25日

宗務総長 大 中 僧 都 増 藤 田 修 誠
総 務 中 僧 都 藤 谷 知 良
総 務 中 僧 都 真 置 和 徳

議案第1号
平成30年度 高田派歳入歳出決算

自 30.6.1
至 R1.5.31

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 宗 教 活 動 収 入	[136,200,000]	[135,474,484]	[725,516]
1. 冥 加	(16,800,000)	(14,794,500)	(2,005,500)
1. 僧 侶 冥 加	5,800,000	5,882,000	△ 82,000
2. そ の 他 冥 加	2,000,000	2,779,000	△ 779,000
3. 札 録	9,000,000	6,133,500	2,866,500
2. 懇 志	(23,500,000)	(28,404,314)	(△ 4,904,314)
1. 報 恩 講 懇 志	13,500,000	13,921,782	△ 421,782
2. 報 恩 講 賽 銭	3,000,000	2,653,232	346,768
3. 諸 法 要 懇 志	5,000,000	7,578,400	△ 2,578,400
4. 団 参 懇 志	2,000,000	4,250,900	△ 2,250,900
3. 義 納 金	(82,400,000)	(80,411,000)	(1,989,000)
1. 寺 院 賦 課 金	82,000,000	80,150,500	1,849,500

2. 過年度収入	400,000	260,500	139,500
4. 刊行物収入	(13,500,000)	(11,864,670)	(1,635,330)
1. 刊行物収入	13,500,000	11,864,670	1,635,330
2. 資産管理収入	[400,000]	[1,948,030]	[Δ 1,548,030]
1. 資産運用収入	(400,000)	(1,948,030)	(Δ 1,548,030)
1. 諸利子	400,000	1,948,030	Δ 1,548,030
3. 雑収入	[11,000,000]	[22,642,064]	[Δ 11,642,064]
1. 雑収入	(11,000,000)	(22,642,064)	(Δ 11,642,064)
1. 雑収入	11,000,000	22,642,064	Δ 11,642,064
4. 特定預金取崩収入	[65,000,000]	[718,990]	[64,281,010]
1. 引当金取崩収入	(65,000,000)	(718,990)	(64,281,010)
1. 引当金取崩収入	65,000,000	718,990	64,281,010
5. 繰入金収入	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]
1. 繰入金収入	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
1. 専修寺回金	1,000,000	0	1,000,000
6. 前年度繰越収支差額	[5,000,000]	[0]	[5,000,000]

前 年 度 總 越 收 支 差 額	(5,000,000)	(0)	(5,000,000)
前 年 度 總 越 收 支 差 額	5,000,000	0	5,000,000
合 計	218,600,000	160,783,568	57,816,432

歳出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 宗 教 活 動 支 出	[148,490,000]	[140,004,576]	[8,485,424]
1. 宗 教 活 動 費	(91,180,000)	(91,170,271)	(9,729)
1. 報 恩 講 費	15,000,000	15,764,772	△ 764,772
2. 諸 法 会 費	7,000,000	5,517,376	1,482,624
3. 講 社 補 助 費	8,000,000	6,536,648	1,463,352
4. 旅 費	3,000,000	4,758,438	△ 1,758,438
5. 都 市 開 教 費	0	0	0
6. 披 費	500,000	260,081	239,919
7. 宗 務 総 長 交 際 費	800,000	899,058	△ 99,058
8. 山 内 清 掃 費	1,000,000	2,245,312	△ 1,245,312
9. 諸 会 議 費	2,000,000	1,059,200	940,800
10. 事 務 費	1,900,000	1,728,000	172,000
11. 褒 賞 費	1,400,000	1,067,548	332,452
12. 団 参 披 費	1,200,000	981,720	218,280

13.	広報事業費	27,000,000	27,759,354	△759,354
14.	調度費	480,000	247,600	232,400
15.	出版費	11,000,000	7,603,706	3,396,294
16.	負担金	1,400,000	1,122,292	277,708
17.	修繕費	2,000,000	1,707,649	292,351
18.	刊行物購入費	7,500,000	11,911,517	△4,411,517
2.	宗議費	(3,960,000)	(2,939,419)	(1,020,581)
1.	議員手当旅費	2,800,000	2,240,000	560,000
2.	議長交際費	190,000	101,785	88,215
3.	議事事務局費	190,000	100,440	89,560
4.	議事運営費	780,000	497,194	282,806
3.	監正局費	(380,000)	(256,490)	(123,510)
1.	監正局会議費	290,000	256,490	33,510
2.	監正局長交際費	90,000	0	90,000
4.	教 学 費	(21,400,000)	(17,453,742)	(3,946,258)
1.	教 学 研 究 費	1,600,000	942,400	657,600

2.	教 学 布 教 費	5,410,000	4,520,856	889,144
3.	出 版 広 報 費	3,800,000	2,669,760	1,130,240
4.	教 学 各 種 団 体 費	2,400,000	2,292,628	107,372
5.	婦 人 坊 守 教 化 費	3,650,000	3,447,967	202,033
6.	青 少 年 教 化 費	3,340,000	2,630,172	709,828
7.	檀 信 徒 教 化 費	1,200,000	949,959	250,041
5.	教 学 院 運 営 費	(6,970,000)	(4,866,791)	(2,103,209)
1.	教 学 研 究 費	2,340,000	900,346	1,439,654
2.	調 度 費	800,000	431,355	368,645
3.	諸 会 議 費	3,830,000	3,535,090	294,910
6.	補 助 金 支 出	(9,800,000)	(9,800,648)	(△ 648)
1.	高 田 学 苑 補 助 金	1,100,000	1,100,000	0
2.	高 田 幼 稚 園 補 助 金	700,000	700,000	0
3.	本 寺 崇 敬 費	5,000,000	5,000,648	△ 648
4.	高 田 会 館 補 助 金	3,000,000	3,000,000	0
7.	管 理 費	(11,600,000)	(11,855,015)	(△ 255,015)

1. 消耗品費	1,700,000	1,632,644	67,356
2. 印刷料	1,700,000	133,488	1,566,512
3. 通信印刷費	2,000,000	2,618,863	△ 618,863
4. 水道光熱管理費	5,300,000	4,974,654	325,346
5. 諸雜費	900,000	2,495,366	△ 1,595,366
8. 公租公課	(3,200,000)	(1,662,200)	(1,537,800)
1. 法人税	100,000	72,000	28,000
2. 消費税	500,000	567,700	△ 67,700
3. 固定資産税	2,600,000	1,022,500	1,577,500
2. 人件費	[58,500,000]	[57,415,745]	[1,084,255]
1. 給料手当	(58,500,000)	(57,415,745)	(1,084,255)
1. 諸給与	48,000,000	47,916,761	83,239
2. 日直宿直費	1,000,000	982,588	17,412
3. 通勤補助費	1,500,000	1,365,043	134,957
4. 福利厚生費	8,000,000	7,151,353	848,647
3. 繰入金支出	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]

1. 繰入金支出	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
1. 高田派共済会回金	1,000,000	1,000,000	0
4. 資産取得支出	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]
1. 備品取得支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
1. 備品取得支出	1,000,000	0	1,000,000
5. 特定資産繰入支出	[1,000,000]	[36,576,853]	[Δ 35,576,853]
1. 特定資産繰入支出	(1,000,000)	(36,576,853)	(Δ 35,576,853)
1. 減価償却引当	0	36,576,853	Δ 36,576,853
2. 退職給与引当	1,000,000	0	1,000,000
6. 予備費	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
予備費	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
予備費	3,000,000	0	3,000,000
7. 次年度繰越収支差額	[5,610,000]	[0]	[5,610,000]
次年度繰越収支差額	(5,610,000)	(0)	(5,610,000)
次年度繰越収支差額	5,610,000	0	5,610,000
合 計	218,600,000	234,997,174	Δ 16,397,174

議案第2号
平成30年度 専修寺歳入歳出決算

自 30.6.1
至 R1.5.31

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 宗 教 活 動 収 入	[277,900,000]	[270,128,066]	[7,771,934]
1. 諸 進 納 金	(102,700,000)	(99,027,546)	(3,672,454)
1. 進 納 所 収 金	3,000,000	2,990,300	9,700
2. 申 物 収 金	93,000,000	87,513,800	5,486,200
3. 特 別 懇 志 金	0	0	0
4. 賽 銭	6,300,000	8,523,446	△ 2,223,446
5. 御 梁 筆 収 金	400,000	0	400,000
2. 納 骨 堂 収 金	(171,600,000)	(167,594,520)	(4,005,480)
1. 浄 華 台 収 金	70,000,000	61,529,500	8,470,500
2. 納 骨 堂 収 金	13,100,000	15,512,000	△ 2,412,000
3. 納 骨 壇 移 転 収 金	0	0	0
4. 納 骨 壇 永 年 管 理 収 金	2,500,000	5,750,000	△ 3,250,000

5. 懇志金	6,000,000	4,686,300	1,313,700
6. 恭敬冥加金	80,000,000	80,116,720	△ 116,720
3. 墓地冥加金	(3,600,000)	(3,506,000)	(94,000)
1. 墓地管理冥加金	3,500,000	3,196,000	304,000
2. その他冥加金	100,000	310,000	△ 210,000
2. 資産管理収入	[1,000,000]	[415,038]	[584,962]
1. 資産運用収入	(1,000,000)	(415,038)	(584,962)
1. 諸利子	1,000,000	415,038	584,962
3. 雑収入	[3,000,000]	[76,373,250]	[△ 73,373,250]
1. 雑収入	(3,000,000)	(76,373,250)	(△ 73,373,250)
1. 雑収入	3,000,000	76,373,250	△ 73,373,250
4. 特定資産取崩収入	[381,000,000]	[241,677,643]	[139,322,357]
1. 特定資産取崩収入	(381,000,000)	(241,677,643)	(139,322,357)
1. 特定資産引当預金取崩収入	381,000,000	241,677,643	139,322,357
5. 前年度繰越収支差額	[10,500,000]	[0]	[10,500,000]
前年度繰越収支差額	(10,500,000)	(0)	(10,500,000)

前年度繰越収支差額	10,500,000	0	10,500,000
合計	673,400,000	588,593,997	84,806,003

歳出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1. 宗 教 活 動 支 出	[239,800,000]	[150,101,051]	[89,698,949]
1. 門 室 費	(30,000,000)	(27,610,356)	(2,389,644)
1. 門 室 費	30,000,000	27,610,356	2,389,644
2. 維 持 費	(80,900,000)	(31,052,290)	(49,847,710)
1. 護 持 費	10,000,000	7,171,348	2,828,652
2. 恭 敬 費	2,000,000	1,374,481	625,519
3. 声 明 公 演 費	10,000,000	6,997,673	3,002,327
4. 事 務 費	4,000,000	3,300,000	700,000
5. 披 待 遇 費	1,800,000	1,988,172	△ 188,172
6. 団 参 清 掃 費	750,000	894,988	△ 144,988
7. 協 賛 費	1,500,000	1,002,000	498,000
8. 申 物 購 入 費	7,000,000	5,545,370	1,454,630
9. 調 度 費	2,850,000	2,123,918	726,082
10. 文 化 財 保 存 費	41,000,000	654,340	40,345,660

3. 管 理 費	(101,000,000)	(65,838,422)	(35,161,578)
1. 自 動 車 諸 費	2,000,000	1,343,841	656,159
2. 水 道 光 熱 管 理 費	15,000,000	12,153,140	2,846,860
3. 綠 化 管 理 費	3,000,000	3,266,306	△ 266,306
4. 通 信 印 刷 費	4,500,000	6,021,826	△ 1,521,826
5. 諸 消 耗 品 費	2,500,000	2,320,752	179,248
6. 引 入 料	1,000,000	961,275	38,725
7. 損 害 保 險 料	3,500,000	3,424,150	75,850
8. 土 地 借 用 料	1,000,000	800,000	200,000
9. 公 租 公 課	3,500,000	3,108,750	391,250
10. 警 備 費	6,000,000	4,412,232	1,587,768
11. 雜 費	1,500,000	930,101	569,899
12. 防 火 設 備 費	7,500,000	6,508,612	991,388
13. 營 繕 補 修 費	50,000,000	20,587,437	29,412,563
4. 納 骨 堂 費	(6,800,000)	(6,110,502)	(689,498)
1. 法 會 費	3,800,000	3,226,430	573,570

2.	記念品費	1,500,000	972,000	528,000
3.	納骨堂清掃費	1,500,000	1,912,072	△412,072
5.	墓地費	(3,600,000)	(3,188,481)	(411,519)
1.	維持管理費	3,500,000	3,179,836	320,164
2.	諸雑費	100,000	8,645	91,355
6.	交付金	(17,500,000)	(16,301,000)	(1,199,000)
1.	院号交付金	16,500,000	15,526,000	974,000
2.	納骨壇加入交付金	1,000,000	775,000	225,000
2.	人件費	[138,500,000]	[135,532,701]	[2,967,299]
1.	給料手当	(138,500,000)	(135,532,701)	(2,967,299)
1.	諸給与	107,000,000	108,472,713	△1,472,713
2.	備人費	6,000,000	2,299,065	3,700,935
3.	日直宿直費	2,000,000	2,292,707	△292,707
4.	通勤補助費	3,500,000	3,185,102	314,898
5.	福利厚生費	20,000,000	16,786,492	3,213,508
6.	退職手当	0	2,496,622	△2,496,622

3. 繰入金	支出	[242,276,544]	[243,759,777]	[1,483,233]
1. 繰入金	支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
1. 高田派	回金	1,000,000	0	1,000,000
2. 特別会計繰入金	支出	(241,276,544)	(243,759,777)	(2,483,233)
1. 重文専修寺聖教繰入金	支出	1,276,544	3,626,544	△ 2,350,000
2. 宝物館建設特会繰入金	支出	240,000,000	240,133,233	△ 133,233
4. 資産取得	支出	[48,000,000]	[2,687,040]	[45,312,960]
1. 構築物取得	支出	(45,000,000)	(0)	(45,000,000)
1. 構築物取得	支出	45,000,000	0	45,000,000
2. 備品取得	支出	(3,000,000)	(2,687,040)	(312,960)
1. 備品取得	支出	2,000,000	1,635,120	364,880
2. ソフトウェア取得	支出	1,000,000	0	1,000,000
3. 付属設備	支出	0	533,520	△ 533,520
4. 固定資産	支出	0	518,400	△ 518,400
5. 特定資産	支出	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]
1. 特定資産	支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)

1. 退職給与引当	1,000,000	0	1,000,000
2. 減価償却引当	0	0	0
3. 納骨堂引当	0	0	0
4. 宝物館建設基金へ	0	0	0
6. 予備費	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
予備費	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
予備費	3,000,000	0	3,000,000
7. 次年度繰越収支差額	[823,456]	[0]	[823,456]
次年度繰越収支差額	(823,456)	(0)	(823,456)
次年度繰越収支差額	823,456	0	823,456
合計	673,400,000	532,080,569	141,319,431

平成30年度真宗高田派共済会歳入歳出決算

平成30年6月1日から令和元年5月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
財 産 収 入	[73,000]	[95,354]	[Δ22,354]
預 金 利 子	10,000	10,834	Δ 834
国 公 債 利 金	63,000	84,520	Δ 21,520
掛 金 収 入	[12,468,000]	[12,358,000]	[Δ 110,000]
寺 院 掛 金	12,000,000	11,890,000	110,000
本 山 職 員 掛 金	468,000	468,000	0
繰 入 金 収 入	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]
高 田 派 回 金	1,000,000	1,000,000	0
償 還 金	[2,000,000]	[2,160,000]	[Δ 160,000]
償 還 金	2,000,000	2,160,000	Δ 160,000
雑 収 入	[0]	[4,086]	[Δ 4,086]
前 年 度 繰 越 金	[11,000,000]	[10,337,943]	[662,057]
収 入 合 計	26,541,000	25,955,383	585,617

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
給 付 金	[9,000,000]	[7,740,000]	[1,260,000]
祝 金 ・ 見 舞 金	2,000,000	2,400,000	△ 400,000
香 料	3,000,000	2,200,000	800,000
慰 勞 金	4,000,000	3,140,000	860,000
獎 学 金 ・ 獎 勵 金	[3,200,000]	[3,400,000]	[△ 200,000]
獎 学 金	3,000,000	3,360,000	△ 360,000
獎 勵 金	200,000	40,000	160,000
記 念 品 費	[1,300,000]	[1,300,320]	[△ 320]
記 念 品 費	1,300,000	1,300,320	△ 320
事 務 費	[420,000]	[385,480]	[34,520]
事 務 費	420,000	385,480	34,520
諸 手 当	370,000	361,720	8,280
雜 費	50,000	23,760	26,240
積 立 金	[2,000,000]	[1,999,136]	[864]

国 公 社 債 購 入 費	2,000,000	1,999,136	864
予 備 費	[10,621,000]	[0]	[10,621,000]
支 出 合 計	26,541,000	14,824,936	11,716,064
次 年 度 繰 越 収 支 差 額	[0]	[11,130,447]	[Δ 11,130,447]

平成30年度 真宗高田派法主褒賞特別会計歳入歳出決算

平成30年6月1日から令和元年5月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
【収入の部】			
資 産 管 理 収 入	1,500	533	967
預 金 利 子	1,500	533	967
基 金 取 崩 収 入	710,000	700,000	10,000
法 主 褒 賞 特 別 基 金 取 崩 収 入	710,000	700,000	10,000
雑 収 入	5,000	0	5,000
雑 収 入	5,000	0	5,000
当 年 度 収 入 合 計 (A)	716,500	700,533	15,967
前 期 繰 越 収 支 差 額	14,320	416,269	△ 401,949
収 入 合 計 (B)	730,820	1,116,802	△ 385,982
【支出の部】			
委 員 会 支 出	86,000	36,000	50,000

委員	手	旅	費	66,000	36,000	30,000
會	議		費	20,000	0	20,000
褒	賞		費	640,000	202,260	437,740
記	念	品	費	600,000	177,660	422,340
披			費	40,000	24,600	15,400
諸	雜		費	840	0	840
手	料	支	出	840	0	840
當年度	支出	合計	(C)	726,840	238,260	488,580
當年度	収支	差額	(A) - (C)	△ 10,340	462,273	△ 472,613
次年度	繰越	収支	差額 (B) - (C)	3,980	878,542	△ 874,562

正味財産増減計算書

平成30年6月1日から令和元年5月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資 産 増 加 額	533		
当 年 度 収 支 差 額		533	
資 産 増 加 額 合 計			533
【減少の部】			
資 産 減 少 額		0	
資 産 減 少 額 合 計			533
当 年 度 正 味 財 産 増 加 額			238,260
当 年 度 正 味 財 産 減 少 額			5,605,822
前 年 度 繰 越 正 味 財 産 額			5,368,095
当 年 度 正 味 財 産 合 計 額			5,368,095

貸借対照表

令和元年 5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【資産の部】		
普 通 預 金	568,095	
基 資 産 合 計	4,800,000	5,368,095
【正味財産の部】		
正 味 財 産 合 計		5,368,095
正 味 財 産 合 計		5,368,095

議案第5号 平成30年度 専修寺聖教保存修理特別会計歳入歳出決算

自 30.6.1
至 R1.5.31
(単位 円)

歳入の部

科	目	予 算 額	決 算 額	内 訳
1.	国 庫 補 助 金	[1,784,000]	[1,784,000]	
	国 庫 補 助 金	(1,784,000)	(1,784,000)	
	国 庫 補 助 金	1,784,000	1,784,000	
2.	三 重 県 補 助 金	[381,000]	[356,000]	
	三 重 県 補 助 金	(381,000)	(356,000)	
	三 重 県 補 助 金	381,000	356,000	
3.	津 市 補 助 金	[178,000]	[178,000]	
	津 市 補 助 金	(178,000)	(178,000)	
	津 市 補 助 金	178,000	178,000	
4.	所 有 者 負 担 金	[1,276,544]	[1,276,544]	
	所 有 者 負 担 金	(1,276,544)	(1,276,544)	

	所有者負担金	1,276,544	1,276,544	
5. 雑	収 入	[0]	[0]	
	雑 収 入	(0)	(0)	
	雑 収 入	0	0	
6. 繰	越 金 収 入	[0]	[2,350,000]	
	繰 越 金 収 入	(0)	(2,350,000)	
	繰 越 金 収 入	0	2,350,000	専修寺より借入
合	計	3,619,544	5,944,544	収支差額2,373,672円は専修寺財産

歳出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
1. 総 事 業 費	[3,529,944]	[3,481,272]	
請 負 費	(3,479,544)	(3,479,544)	
1. 人 件 費	1,569,000	1,569,000	
2. 原 材 料 費	37,600	37,600	
3. 直 接 経 費	1,569,000	1,569,000	
4. 特 別 経 費	42,000	42,000	
5. 技 術 料 等 経 費	4,200	4,200	
6. 消 費 税	257,744	257,744	
主 たる 事 業 費	(50,400)	(1,728)	
1. 報 償 費	35,000	0	
2. 旅 費	10,000	0	
3. 需 用 費	5,400	1,728	
2. そ の 他 の 経 費	[89,600]	[89,600]	
そ の 他 の 経 費	(89,600)	(89,600)	

指導監督旅費	68,000	68,000	
需用費	21,600	21,600	
合計	3,619,544	3,570,872	

議案第6号

平成30年度 宝物館建設特別会計歳入歳出決算

自 30.6.1
至 R1.5.31

歳入の部

(単位 円)

科 目	30年度予算	30年度決算	内 訳
1. 専修寺より繰入	240,000,000	240,133,233	一光三尊さんと伝灯奉告法会の1.9億円と
専修寺より繰入	240,000,000	240,133,233	関東別院からの5,000万円たして2.4億円
専修寺より繰入	240,000,000	240,133,233	預金利息33,233円+志10万円
2. 懇志金収入	50,000,000	150,000,000	
懇志金収入	50,000,000	150,000,000	
懇志金収入	50,000,000	150,000,000	関東別院より
3. 雑収入	0	24,437	
雑収入	0	24,437	
雑収入	0	24,437	預金利息24,000+6+431=24,437円
合 計	290,000,000	390,157,670	

歳出の部

科 目	30年度予算	30年度決算	内 訳
1. 建設工事費	49,700,000	0	
建設工事費	49,700,000	0	
建設工事費	49,700,000	0	工事契約は、翌年度に変更
2. 付帯設備経費	0	0	
付帯設備経費	0	0	
付帯設備経費	0	0	
3. 設計監理費	15,292,000	5,292,000	
設計監理費	15,292,000	5,292,000	工事監理費は、翌年度に変更
設計監理費	15,292,000	5,292,000	設計費・管野企画設計
4. その他経費	5,000,000	0	
その他経費	5,000,000	0	
その他経費	5,000,000	0	宝物移送費は、翌年度に変更
5. 繰越金	220,008,000	384,865,670	
繰越金	220,008,000	384,865,670	

線	越	金		
合	計	220,008,000	384,865,670	
		290,000,000	390,157,670	

議案第7号
令和元年度 高田派歳入歳出補正予算

自 R1.6.1
至 R2.5.31

歳入の部

(単位 円)

科 目	本年度予算額	補正額	補正後予算額	備考欄
1. 宗教活動収入	[133,700,000]	[0]	[133,700,000]	
1. 冥加	(12,800,000)	(0)	(12,800,000)	
1. 僧侶冥加	5,800,000	0	5,800,000	
2. その他冥加	2,000,000	0	2,000,000	
3. 札録	5,000,000	0	5,000,000	
2. 懇志	(25,500,000)	(0)	(25,500,000)	
1. 報恩講懇志	13,500,000	0	13,500,000	
2. 報恩講賽銭	3,000,000	0	3,000,000	
3. 諸法要懇志	5,000,000	0	5,000,000	
4. 団参懇志	4,000,000	0	4,000,000	
3. 義納	(82,400,000)	(0)	(82,400,000)	
1. 寺院賦課金	82,000,000	0	82,000,000	

2. 過年度収入	400,000	0	400,000	
4. 刊行物収入	(13,000,000)	(0)	(13,000,000)	
1. 刊行物収入	13,000,000	0	13,000,000	
2. 資産管理収入	[1,950,000]	[0]	[1,950,000]	
1. 資産運用収入	(1,950,000)	(0)	(1,950,000)	
1. 諸利子	1,950,000	0	1,950,000	
3. 雑収入	[11,000,000]	[0]	[11,000,000]	
1. 雑収入	(11,000,000)	(0)	(11,000,000)	
1. 雑収入	11,000,000	0	11,000,000	
4. 繰入金収入	[1,000,000]	[440,365,670]	[441,365,670]	
1. 繰入金収入	(1,000,000)	(440,365,670)	(441,365,670)	
1. 専修寺回金	1,000,000	440,365,670	441,365,670	特別法要事務局 へ
5. 特定資産取崩収入	[40,000,000]	[100,000,000]	[140,000,000]	
1. 特定資産取崩収入	(40,000,000)	(100,000,000)	(140,000,000)	
1. 流動資産取崩収入	40,000,000	100,000,000	140,000,000	特別法要事務局 へ取崩し
6. 前年度繰越収支差額	[20,000,000]	[0]	[20,000,000]	

前	年	度	線	越	收	支	差	額	(20,000,000)	(0)	(20,000,000)	
前	年	度	線	越	收	支	差	額		20,000,000		0		20,000,000	
合							計			207,650,000		540,365,670		748,015,670	

歳出の部

科 目	本年度予算額	補正額	補正後予算額	備考欄
1. 宗 教 活 動 支 出	[142,470,000]	[0]	[142,470,000]	
1. 宗 教 活 動 費	(83,680,000)	(0)	(83,680,000)	
1. 報 恩 講 費	15,000,000	0	15,000,000	
2. 諸 法 会 費	5,000,000	0	5,000,000	
3. 講 社 補 助 費	8,000,000	0	8,000,000	
4. 旅 費	4,000,000	0	4,000,000	
5. 都 市 開 教 費	0	0	0	
6. 披 費	500,000	0	500,000	
7. 宗 務 総 長 交 際 費	800,000	0	800,000	
8. 山 内 清 掃 費	2,000,000	0	2,000,000	
9. 諸 会 議 費	2,000,000	0	2,000,000	
10. 事 務 費	1,900,000	0	1,900,000	
11. 褒 賞 費	1,400,000	0	1,400,000	
12. 団 参 披 費	1,200,000	0	1,200,000	

13. 広報事業費	25,000,000	0	25,000,000	
14. 調度費	480,000	0	480,000	
15. 出版費	3,000,000	0	3,000,000	
16. 負担金	1,400,000	0	1,400,000	
17. 修繕費	2,000,000	0	2,000,000	
18. 刊行物購入費	10,000,000	0	10,000,000	
2. 宗議費	(3,960,000)	(0)	(3,960,000)	
1. 議員手当旅費	2,800,000	0	2,800,000	
2. 議長交際費	190,000	0	190,000	
3. 議事事務局費	190,000	0	190,000	
4. 議会運営費	780,000	0	780,000	
3. 監正局費	(380,000)	(0)	(380,000)	
1. 監正局会議費	290,000	0	290,000	
2. 監正局長交際費	90,000	0	90,000	
4. 教 学 費	(20,580,000)	(0)	(20,580,000)	
1. 教 学 研 究 費	1,600,000	0	1,600,000	

2.	教 学 布 教 費	5,110,000	0	5,110,000	
3.	出 版 広 報 費	3,600,000	0	3,600,000	
4.	教 学 各 種 団 体 費	2,400,000	0	2,400,000	
5.	婦 人 坊 守 教 化 費	3,450,000	0	3,450,000	
6.	青 少 年 教 化 費	3,120,000	0	3,120,000	
7.	檀 信 徒 教 化 費	1,300,000	0	1,300,000	
5.	教 学 院 運 営 費	(6,970,000)	(0)	(6,970,000)	
1.	教 学 研 究 費	2,340,000	0	2,340,000	
2.	調 度 費	800,000	0	800,000	
3.	諸 会 議 費	3,830,000	0	3,830,000	
6.	補 助 金 支 出	(12,800,000)	(0)	(12,800,000)	
1.	高 田 学 苑 補 助 金	1,100,000	0	1,100,000	
2.	高 田 幼 稚 園 補 助 金	700,000	0	700,000	
3.	本 寺 崇 敬 費	8,000,000	0	8,000,000	
4.	高 田 会 館 補 助 金	3,000,000	0	3,000,000	
7.	管 理 費	(12,000,000)	(0)	(12,000,000)	

1.	消 耗 品 費	1,700,000	0	1,700,000	
2.	リ 一 久 料	100,000	0	100,000	
3.	通 信 印 刷 費	4,000,000	0	4,000,000	
4.	水 道 光 熱 管 理 費	5,300,000	0	5,300,000	
5.	諸 雑 費	900,000	0	900,000	
8.	公 租 公 課	(2,100,000)	(0)	(2,100,000)	
1.	法 人 税	100,000	0	100,000	
2.	消 費 税	500,000	0	500,000	
3.	固 定 資 産 税	1,500,000	0	1,500,000	
2.	人 件 費	[58,000,000]	[0]	[58,000,000]	
1.	給 料 手 当	(58,000,000)	(0)	(58,000,000)	
1.	諸 給 与	49,500,000	0	49,500,000	
2.	日 直 宿 直 費	1,000,000	0	1,000,000	
3.	通 勤 補 助 費	1,500,000	0	1,500,000	
4.	福 利 厚 生 費	6,000,000	0	6,000,000	
3.	繰 入 金 支 出	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]	

1. 繰入金支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	
1. 高田派共済会回金	1,000,000	0	1,000,000	
4. 資産取得支出	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]	
1. 備品取得支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	
1. 備品取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
5. 特定資産繰入支出	[0]	[540,365,670]	[540,365,670]	
1. 特定資産繰入支出	(0)	(540,365,670)	(540,365,670)	
1. 減価償却特定資産繰入支出	0	0	0	
2. 退職給与引当特定資産支出	0	0	0	
3. 特別法要事務局特会繰入支出	0	540,365,670	540,365,670	特別法要事務局 特会\
6. 予備費	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]	
予備費	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)	
予備費	3,000,000	0	3,000,000	
7. 次年度繰越収支差額	[2,180,000]	[0]	[2,180,000]	
次年度繰越収支差額	(2,180,000)	(0)	(2,180,000)	
次年度繰越収支差額	2,180,000	0	2,180,000	
合計	207,650,000	540,365,670	748,015,670	

議案第 8 号
令和元年度 専修寺歳入歳出補正予算

自 R1.6.1
至 R2.5.31

歳入の部

(単位 円)

科 目	元 年 度 予 算 額	補 正 額	補 正 後 予 算 額
1. 宗 教 活 動 収 入	[262,500,000]	[0]	[262,500,000]
1. 諸 進 納 金	(96,400,000)	(0)	(96,400,000)
1. 進 納 所 冥 加 金	3,000,000	0	3,000,000
2. 申 物 冥 加 金	85,000,000	0	85,000,000
3. 特 別 懇 志 金	0	0	0
4. 賽 銭	8,000,000	0	8,000,000
5. 御 染 筆 冥 加 金	400,000	0	400,000
2. 納 骨 堂 冥 加 金	(162,500,000)	(0)	(162,500,000)
1. 浄 華 台 冥 加 金	60,000,000	0	60,000,000
2. 納 骨 堂 加 入 冥 加 金	15,000,000	0	15,000,000
3. 納 骨 壇 移 転 冥 加 金	0	0	0
4. 納 骨 壇 永 年 管 理 冥 加 金	2,500,000	0	2,500,000

5. 懇志金	5,000,000	0	5,000,000
6. 恭敬冥加金	80,000,000	0	80,000,000
3. 墓地冥加金	(3,600,000)	(0)	(3,600,000)
1. 墓地管理冥加金	3,500,000	0	3,500,000
2. その他冥加金	100,000	0	100,000
4. 特別懇志金	(0)	(0)	(0)
1. 特別懇志金	0	0	0
2. 資産管理収入	[400,000]	[0]	[400,000]
1. 資産運用収入	(400,000)	(0)	(400,000)
1. 諸利子	400,000	0	400,000
3. 雑収入	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
1. 雑収入	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
1. 雑収入	3,000,000	0	3,000,000
4. 特定資産取崩収入	[55,500,000]	[384,865,670]	[440,365,670]
1. 特定資産取崩収入	(55,500,000)	(384,865,670)	(440,365,670)
1. 減価償却引当預金取崩収入	0	0	0

2. 博物館建設引当預金取崩収入	55,500,000	384,865,670	440,365,670
5. 前年度繰越収支差額	[167,000,000]	[0]	[167,000,000]
前年度繰越収支差額	(167,000,000)	(0)	(167,000,000)
前年度繰越収支差額	167,000,000	0	167,000,000
合 計	488,400,000	384,865,670	873,265,670

歳出の部

科 目	元 年 度 予 算 額	補 正 額	補 正 後 予 算 額
1. 宗 教 活 動 支 出	[207,750,000]	[0]	[207,750,000]
1. 門 室 費	(30,000,000)	(0)	(30,000,000)
1. 門 室 費	30,000,000	0	30,000,000
2. 維 持 費	(73,050,000)	(0)	(73,050,000)
1. 護 持 費	10,000,000	0	10,000,000
2. 恭 敬 費	2,000,000	0	2,000,000
3. 定専上人・堯真上人年忌法会	2,000,000	0	2,000,000
4. 声 明 公 演 費	2,000,000	0	2,000,000
5. 事 務 費	4,000,000	0	4,000,000
6. 披 待 遇 費	1,800,000	0	1,800,000
7. 団 参 清 掃 費	900,000	0	900,000
8. 協 賛 費	1,500,000	0	1,500,000
9. 申 物 購 入 費	6,000,000	0	6,000,000
10. 調 度 費	2,850,000	0	2,850,000

11. 文化財保存費	40,000,000	0	40,000,000
3. 管理費	(77,800,000)	(0)	(77,800,000)
1. 自動車諸費	2,000,000	0	2,000,000
2. 水道光熱管理費	15,000,000	0	15,000,000
3. 綠化管理費	3,500,000	0	3,500,000
4. 通信印刷費	4,500,000	0	4,500,000
5. 諸消耗品費	2,500,000	0	2,500,000
6. 印刷又料	1,000,000	0	1,000,000
7. 損害保險料	3,500,000	0	3,500,000
8. 土地借用料	800,000	0	800,000
9. 公租房課	3,500,000	0	3,500,000
10. 警備費	5,000,000	0	5,000,000
11. 雜費	1,500,000	0	1,500,000
12. 防火設備費	5,000,000	0	5,000,000
13. 營繕補修費	30,000,000	0	30,000,000
4. 納骨堂費	(6,800,000)	(0)	(6,800,000)

1. 法	會	費	3,800,000	0	3,800,000			
2. 記	念	品	費	1,500,000	0	1,500,000		
3. 納	骨	堂	清	掃	費	1,500,000		
5. 墓	地	費	(3,600,000)	(3,600,000)		
1. 雜	持	管	理	費	3,500,000	0	3,500,000	
2. 諸	雜	費	100,000	0	100,000	0	100,000	
6. 交	付	金	(16,500,000)	(16,500,000)		
1. 院	號	交	付	金	15,500,000	0	15,500,000	
2. 納	骨	壇	加	入	交	付	金	1,000,000
2. 人	件	費	[143,600,000]	[143,600,000]		
1. 給	料	手	當	(143,600,000)	(143,600,000)	
1. 諸	給	與	113,000,000	0	113,000,000	0	113,000,000	
2. 備	人	費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	
3. 日	直	宿	直	費	3,200,000	0	3,200,000	
4. 通	勤	補	助	費	4,400,000	0	4,400,000	
5. 福	利	厚	生	費	20,000,000	0	20,000,000	

3. 繰入金支出	[57,577,910]	[38,486,670]	[442,443,580]
1. 繰入金支出	(1,000,000)	(440,365,670)	(441,365,670)
1. 高田派回金		1,000,000		440,365,670		441,365,670
2. 特別会計繰入金支出	(56,577,910)	(△ 55,500,000)	(1,077,910)
1. 重文専修寺聖教特会繰入金支出		1,077,910		0		1,077,910
2. 宝物館建設特会繰入金支出		55,500,000		△ 55,500,000		0
4. 資産取得支出	[49,000,000]	[0]	[49,000,000]
1. 構築物取得支出	(45,000,000)	(0)	(45,000,000)
1. 構築物取得支出		45,000,000		0		45,000,000
2. 備品取得支出	(4,000,000)	(0)	(4,000,000)
1. 備品取得支出		3,000,000		0		3,000,000
2. ソフトウェア取得支出		1,000,000		0		1,000,000
5. 特定資産支出	[0]	[0]	[0]
1. 特定資産支出	(0)	(0)	(0)
1. 退職給与引当		0		0		0
2. 減価償却引当		0		0		0

3. 納骨堂引当	0	0	0
4. 宝物館建設基金	0	0	0
6. 予備費	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
予備費	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
予備費	3,000,000	0	3,000,000
7. 次年度繰越収支差額	[27,472,090]	[0]	[27,472,090]
次年度繰越収支差額	(27,472,090)	(0)	(27,472,090)
次年度繰越収支差額	27,472,090	0	27,472,090
合計	488,400,000	384,865,670	873,265,670

議案第9号
令和元年度 特別法要歳入歳出予算

自 R1.9.1
至 R2.5.31
(単位 円)

歳入の部

科	目	本年度予算額	備考
1.	宗 教 活 動 収 入	50,000,000	
1.	宝 物 館 建 設 懇 志 金	50,000,000	
1.	宝 物 館 建 設 懇 志 金	50,000,000	関東別院より
2.	資 産 管 理 収 入	10,000	
1.	資 産 運 用 収 入	10,000	
1.	諸 利 子	10,000	預金利息
3.	繰 入 金 収 入	540,365,670	
1.	繰 入 金 収 入	540,365,670	
1.	繰 入 金 収 入	540,365,670	高田派より(立ち上げ1億、宝物館4.4億)
	合 計	590,375,670	

歳出の部

科 目	本年度予算額	備 考
1. 宗 教 活 動 支 出	9,550,000	
1. 記 念 行 事 費	6,000,000	
1. 広 報 費	6,000,000	看板、新聞、チラシ
2. 管 理 費	3,550,000	
1. 会 議 費	500,000	会議10万*5回
2. 通 信 費	500,000	電話料、郵便
3. 印 刷 費	1,000,000	案内状、ポスター
4. 募 財 費	1,000,000	御巡教、募財(県内外)
5. 自 動 車 費	200,000	ガソリン代ほか
6. 消 耗 品 費	100,000	コピー用紙ほか
7. 交 際 費	50,000	慶弔費
8. 雑 費	200,000	
2. 人 件 費	9,550,000	
1. 給 料 手 当	9,550,000	

1. 諸	給 与	8,500,000	職員給与 (3名)
2. 通 勤	補 助 費	200,000	通勤費
3. 福 利 厚 生	費	850,000	社会保険料
3. 記 念 事 業	費	351,000,000	
1. 記 念 事 業	費	11,000,000	
1. お 待 ち 受 け 法 会	費	1,000,000	本山
2. 記 念 出 版	費	10,000,000	法主殿記念出版
2. 宝 物 館 建 設	費	340,000,000	
1. 建 設 工 事	費	320,000,000	宝物館建設工事
2. 設 計 監 理	費	15,000,000	宝物館設計監理
3. そ の 他	経 費	5,000,000	
4. 資 産 取 得	支 出	2,500,000	
1. 資 産 取 得	支 出	2,500,000	
1. 資 産 取 得	支 出	2,500,000	パソコン、その他購入
5. 予 備	費	10,000,000	
1. 予 備	費	10,000,000	

1. 予備費	10,000,000	
6. 繰越金	207,775,670	
1. 次期繰越金	207,775,670	
1. 次期繰越金	207,775,670	
合計	590,375,670	

「真宗高田派宗規程」の一部改正について

(文化庁からの指示により該当箇所を変更する)

現 行 規 程	改 正 後 規 程
<p>(役員の欠格)</p> <p>第二十二條 次の各号のいずれかに該当する者は、代表役員、責任役員、代務者、仮代表役員又は仮責任役員となることができない。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 成年被後見人又は被保佐人</p> <p>三 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者</p>	<p>(役員の欠格事由)</p> <p>第二十二條 次の各号のいずれかに該当する者は、代表役員、責任役員、代務者、仮代表役員又は仮責任役員となることができない。</p> <p>一 (略)</p> <p>二 心身の故障によりその職務を行うに当たつて必要となる認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者</p> <p>三 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者</p>

「真宗高田派共済会規程」の一部改正について

現 行 規 程	改 正 後 規 程
<p>(見舞金)</p> <p>第四条 前条第一号に定める見舞金は、高田派一般寺院(教会を含む。以下「寺院」という。)が災害を被ったときに、当該寺院に対し、次のとおり見舞金を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 本堂全焼及び全壊 金 一〇〇万円 二 本堂半焼及び半壊 金 六〇万円 三 庫裏全焼及び全壊 金 六〇万円 <p>四 その他、前各号の規定によりがたい災害の場合 は、理事会で審議決定する。</p>	<p>(見舞金)</p> <p>第四条 前条第一号に定める見舞金は、高田派一般寺院(教会を含む。以下「寺院」という。)が災害を被ったときに、当該寺院に対し、次のとおり見舞金を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 (同文) 二 (同文) 三 (同文) <p>※追加項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 境内建物並びに境内地が前項第一号から第三号以外の災害(被害総額が百万円以上の場合に限る)を被ったときは、当該寺院に対し、二万円をお見舞いする。 <p>3 その他、前各号の規定によりがたい災害の場合 は、理事会で審議決定する。</p>

<p>2 前項第一号から第三号の規定に該当する場合は、宗教法人真宗高田派宗制第百八十八条に定める報告を済ませなければ給付金の申請をすることが出来ない。</p> <p>3 第一項各号に該当する場合は、原則として被災の状況を証明する書類の添付をしなければならない。</p> <p>(祝 金)</p> <p>第五条 第三条第二号に定める祝金は、寺院が宗教活動で使用する建物を新築又は改築（工費が壱千万以上の場合に限る。）した場合、次の各号に定めるとおり支給する。</p> <p>一 本堂新築及び改築 金六〇万円</p> <p>二 本堂を除く境内建物の新築及び改築 金一〇万円</p> <p>2 (同文)</p> <p>3 第一項第二号に定める本堂を除く境内建物とは、次の各号に定める建物とする。</p>	
<p>3 (同文)</p> <p>2 (同文)</p> <p>1 (同文)</p> <p>二 (同文)</p>	<p>4 (同文)</p> <p>5 第一項各号及び第二項、三項に該当する場合は、原則として被災の状況を証明する書類の添付をしなければならない。</p> <p>(祝 金)</p> <p>第五条 (同文)</p>

- 一 本堂に隣接する庫裏
- 二 山門及び鐘楼

- 一 庫裏、山門及び鐘楼
- 二 その他境内建物

附則

令和元年十月一日から施行する。

第二十七回 法話発表会報告

九月五日、宗務院第一会議室において「第二十七回法話発表会」を、法主殿ご臨席のもと開催いたしました。聴衆約三十名の中、五名の僧侶がそれぞれ約十五分の法話を発表しました。

顕正寺衆徒

眞弓俊光

「ご縁を大事に」

遍照寺衆徒

白井智瑛

「報恩謝徳のお念仏」

大乘寺衆徒

吉尾真祐

「専らこの行に奉え、

唯この信を崇めよ」

西蓮寺衆徒

稲森信空

「功徳は十方にみちたまふ」

教学院第三部会

岡 知道

「命は大切ですか？」

発表終了後には、教学院第三部会の研究員を交えての座談会があり、発表者より発表の感想、研

究員の方々より助言と指導をいただき、熱心な質疑が取り交わされました。

発表者の方々は、この体験を活かして、今後の布教伝道に励んでいただくことを願っております。また、これから法話をしてみようとお考えの方は是非、次回の法話発表会に参加していただければと存じます。

第三十九回住職補任研修会報告

去る十月八日（火）午後より九日（水）午前中まで、一泊二日にわたり住職補任研修会が、教師八名参加の下に開催されました。

尚、研修内容は次のとおりです。

真宗教義と高田派の歴史 九十分

声明 九十分

現状と課題（座談会） 六十分

宗教法人法・寺院規則 六十分

晨朝参拝・説教聴聞

法式作法
住職道・布教道

九十分
九十分

以上

教学院だより

令和一年度第一回

布教伝道研修講座の活動報告

七月三十日、高田会館ホールにおいて第一回布教伝道研修講座を開催しました。昨年に引き続きご講師に大谷大学教授、一楽真先生をお招きし「入出二門偈に聞く」と題して講義を賜りました。昨年の講義が大変好評であったので、一楽先生にお願いして今回より三回にわたって入出二門偈についてご講義をしていただくこととなりました。

昨年が入出二門偈の作成時期の考察や、時代背景、聖人の境遇などの紹介をいただき、今回の講

義より、いよいよ内容に踏み込んでまいります。「自利利他の行、成就したまえり」という偈文の読み下しに、すべてが如来さまのはたらきであるという聖人の他力観をおさえられ、この偈文は阿弥陀を主語として読まないと言えないような内容であることを繰り返し丁寧に紹介くださいました。たとえば「礼拝」することさえ、頭を下げれば礼拝していると私たちは思い込むのですが、私の都合を一切挟むことなく礼拝などできるものであろうかと、気づきをうながしながら私たちひとり一人に向けて聖人のお心を伝えてくださいました。

紹介される機会の少ない入出二門偈についての講義が、分かりやすいお話しと評判の一楽先生によってなされるということで、高田派に限らず多くの方にお集まりいただけたと思います。一楽先生の「入出二門偈に聞く」次回の講義は来年の7月末を予定しております。今回聞き逃された方も是非次回にお越しください。

第三部会主任・大河戸悟道

本山行事予定

(十一月・十二月)

十一月三・四日

納骨堂法会

十一月五～十日

秋法会

十二月八～十日

中興上人御正當



下付金のお知らせ

平成二十五年度分院号下付金、及び納骨壇加入下付金を専修寺正味財産に計上いたしました。

(令和元年五月三十一日付)

院号冥加金、及び納骨壇加入冥加金の下付金は納入された年度から、五が年を経過したものは、専修寺正味財産に計上されるため、交付出来ませんのでご注意ください。

詳しくは宗務院財務課までお尋ね下さい。

宗門のお知らせ

高田中学校・高田高等学校・高田短期大学 令和2年度 学生・生徒募集要項

中 学 校	6 年 制	募集人員	男女 190名									
		出願期間	令和元年12月10日(火)～12月13日(金) 郵送必着に限る									
		払込期間	令和元年12月3日(火)～12月6日(金) ※払込期間は願書受付期間の前となっておりますのでご注意ください									
		試験日	令和2年1月11日(土)									
		試験会場	高田中学校									
高 等 学 校	3 年 制	募集人員	男女 560名 (内部進学者含む)									
		出願期間	令和2年1月8日(水)～1月10日(金) 9時～16時 窓口受付 ※郵送の場合は1月6日(月)～1月10日(金) 必着									
		払込期間	令和元年12月9日(月)～令和2年1月6日(月) ※払込期間は願書受付期間の前となっておりますのでご注意ください									
		試験日	令和2年1月26日(日)									
		試験会場	出願手続の際提示する									
募集人員 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども学科 150名 ・キャリア育成学科 100名 (オフィスワークコース・介護福祉コース)												
短 期 大 学	キ ャ リ ア 育 成 学 科 子 ど も 学 科	種 別	出 願 期 間	試 験 日								
		推薦入試Ⅰ期	令和元年10月25日(金)～11月5日(火) 必着	11月9日(土)								
		アスリート推薦入試										
		推薦入試Ⅱ期	令和元年11月26日(火)～12月3日(火) 必着	12月7日(土)								
		外国人留学生入試Ⅰ期 <small>※キャリア育成学科のみ実施</small>	令和元年10月1日(火)～12月3日(火) 必着									
		推薦入試Ⅲ期	令和2年1月14日(火)～1月21日(火) 必着	1月25日(土)								
		社会人入試Ⅰ期										
		外国人留学生入試Ⅱ期 <small>※キャリア育成学科のみ実施</small>	令和元年12月11日(水) ～令和2年1月21日(火) 必着									
		一般入試Ⅰ期	令和2年2月4日(火)～2月10日(月) 必着	2月14日(金)								
		社会人入試Ⅱ期										
		海外帰国生徒入試										
		大学等卒業生入試										
		外国人留学生入試Ⅲ期 <small>※キャリア育成学科のみ実施</small>	令和2年1月28日(火)～2月10日(月) 必着									
		一般入試Ⅱ期	令和2年2月25日(火)～3月3日(火) 必着	3月6日(金)								
社会人入試Ⅲ期												
学校法人 高田学苑 <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">高田中・高等学校</td> <td style="width: 25%;">津市一身田町2843</td> <td style="width: 25%;">TEL 059-232-2004</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>高田短期大学</td> <td>津市一身田豊野195</td> <td>TEL 059-232-2310</td> <td></td> </tr> </table>					高田中・高等学校	津市一身田町2843	TEL 059-232-2004		高田短期大学	津市一身田豊野195	TEL 059-232-2310	
高田中・高等学校	津市一身田町2843	TEL 059-232-2004										
高田短期大学	津市一身田豊野195	TEL 059-232-2310										

宗門のお知らせ

眞宗高田派共済会のご案内

●全寺院対象の共済制度●

眞宗高田派共済会運営規程による各種制度

○見舞金

- ・本堂全焼及び全壊 100万円
- ・本堂半焼及び半壊 60万円
- ・庫裏全焼及び全壊 60万円

* 災害を証明する書類が必要

- ・境内地並境内建物が災害を被った時は、2万円をお見舞いする
(追加されました)

* 被害総額が100万円以上の場合となります

○祝金

- ・本堂新築及び改築 60万円
- ・本堂を除く境内建物の新築および改築 10万円

* 工事費が1千万円以上の場合となります

* 高田派代表役員が発行した新築・改築の承認書と
工事契約書の写しが必要

○香料(住職の死亡から6ヶ月以内に申請のこと)

在任期間により給付金が異なります

- ・住職在任40年以上 50万円
- ・住職在任30年以上40年未満 40万円
- ・住職在任20年以上30年未満 30万円
- ・住職在任10年以上20年未満 20万円
- ・住職在任10年未満 10万円

○住職退職慰労金(退職から6ヶ月以内に申請のこと)

上記死亡の場合を適用する

○眞宗教学奨学金(毎年4月末日までに申請のこと)

- ・高等学校生及び眞宗各派の専修学院生 月額 2万円 若干名
- ・大学生及び大学院生 月額 4万円 若干名
- ・月額 8万円 若干名
(追加されました)

○奨励金(毎年4月末日までに申請のこと)

共済会が指定した学校学部にて入学したときに

4万円を支給します。

給付及び申請のお問い合わせは、下記の共済会担当までお尋ねください。

眞宗高田派共済会 眞宗高田派宗務院内

電話 059-232-4171 FAX 059-232-1414

人権擁護啓発活動重点項目

- 一、国際時代にふさわしい人権意識を育てよう。
- 一、子どもの人権を守ろう。
- 一、高齢者の人権を尊重しよう。
- 一、病気・部落などによる差別をなくそう。
- 一、障害者の完全参加と平等を実現しよう。

「三重県人権教育基本方針」より抜粋



令和元年十月二十五日印刷
令和元年十月二十五日発行

三重県津市一身田町二八一九番地
電話（〇五九）二三三二一四一七一
<http://www.senjui.or.jp>

真宗高田派本山専修寺

発行所 宗務院

振替〇〇一五〇〇一五一九四番

印刷所 三重県津市一身田町七六五番地
相和印刷所

電話（〇五九）二三三二二〇七〇